現 に我々が恩校を出た当初などは直接 大量の指導を受ける機會 大量がなどは直接

をは以前と違って社會秩 をは以前と違って社會秩 るるやうに思はれるけて はながれる。

参考にした方がよいと思い ・ 可く先輩と接觸して同學の と思ふ。又後輩としても成

いかといふ気が本書で とい本を讃むやうに とい本を讃むやうに といるのが本書で

の帝后の御覧に供へるがなり、御動都を目と耳の一角関民に伸へは十九日からにないまれるが

帝后御覽

訪日映畫

難してゐる、而も社會秩序 皆ほど單純でなく非常に複 皆ほど單純でなく非常に複

かつた。然るに現在は満れる。殊に當時の満別にと思はれる。殊に當時の満別にと思はが多いな感じが多

注意しなければなら り先輩が後輩を導さ りたまなければなら

かないでもなかはならぬこと

先輩に親し

人れる感要があることを必要があるともないのない。 全型の はたためのないないのないのないのないのないのないのないのないでは、一般のないないのないでは、一般のないでは、一

いの つをも来、来と僕祖導はをの味あ指で ておいし社は係し来中とるが係合 後くとううと (電管だな接に云が係をと しと先とい情に変がけいに作ります。)

献は精讀主義に

Bi

日九十二 月 六

呈帝陛下御滯京第四

成らせられ 皇太后陛下に 御野面、高松宮、同妃、三 神宮各殿下にも御臨席あらせられて 皇太后陛下御儘 しの午餐會に臨ませられ雨 しの午餐會に臨ませられ雨 管である、なほこの日の細 御宴終了後も更に御團機な らせられて午後四時卅分留 らせられて午後四時卅分留

日比谷公園に成路深き式地へ 電車上げることとなつてる であつた、公園東入口に設めため めた御歌迎の唯一の題現と 分茶色の園服に意気爽かな 皇帝 典は一億日本園民の熟誠こ やかにはためく午後一時州 設めた御歌迎の唯一の題現と 分茶色の園服に意気爽かな ニーカー かんしょう かんしゅう まま して特別の意義を持つもの 東京市聯合青年園五百名を 宮

皇帝陛下御旅

川野浦事洛局總裁代理の李 迎の際についで熙宮内府大 原か市民の誠意ある李迎に 感激して非異なる挨拶。述 べた、この時陸軍戸山學校 不た、この時陸軍戸山學校 不た、この時陸軍戸山學校 でた、この時陸軍戸山學校 でた、この時陸軍戸山學校

命令を傳達した

地域よ

近く開議に附議することとのほど削い変に新設を企業した新局に最い一致を見した新局によりのほど漸で法側に変見の一致を見

と見制に

拓務局分割

関政一般に関し討議か行は の分局限されてあたに反し のみ局限されてあたに反し のみ局限されてあたに反し

重要諸都市を占領

議長ブオイブオデ氏を無任所相に、上院議長アルチエトイアヌ氏を外相として入閣せしめ擧國内閣を組織したルーマニア内閣は廿八日緊急國務會議を開催し協議の結果國内體網强化の爲一部内閣の改造斷行、新たに下院工 大 危 局 に 内閣 改 造 (ブカレスト廿八日發嶮通)ソ聯の電腦的要求に伴ふ猟犬難局に對處すべく

HEE

無

血進駐

からイタリーへとこれらったをりバルチック三國 大の如く語つたが、 大の如く語ったリルソー總領に でモロトフ機道に ではしたが、 大の如く語ったリルソー をでは、 大の如く語った。 大の如く語った。 ス考州 つと言ふことになつた、
支配は英獨戦の結果に俟

1 ランド進入直接フルソーを脱出します。 三り関際政情激變ドのベルリン、 国事館の一時開鎖を機に本國引力 護にて満洲里に到着東亜旅館に投 道にて満洲里に到着東亜旅館に投 道にて満洲里に到着東亜旅館に投 地位日深 大田、李三館員を随へ廿七日深 では、七日深 では、七日で では では では では では では では

◆やドーヴァ海峡を挟んで英獨の本格的争割離が しと言うなにとしなったが で英獨の本格的争割離が ととしなったが を断定するるで表でとしなったが がを以て使かってはできるである。 で英獨の本格的争割離が を断定するとしなったが でで表するとしなったが でで表するとしなったが でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でではでするできる。 での一致では出来なったが での一致でも での一致でも での一致でも での一致である。 での一致でも での一致でしたが での一致でも での一致でも での一致でも での一致でも での一致でも での一致でも である。 では、 でいては、 でいては、 でいても でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

朴ワ

總領事の

十一時閉映 五〇錢 壽匠名 信州高地山岳を背景に、写と青春を讃え、 杉狂と森の名コー 描く 原大尾 倉上千菊 浪曲 n 見頻20 211 をの か新っ太 代太 映 の岩 共太演郎 > 奏重二のご E

長江敵前渡河 一團金に 英佛の援蔣敵

宜昌奪回敵企圖を撃碎==

會議務科長

に変更十八日發園通)南支 軍の佛印ならびに英支國境 軍の佛印ならびに英支國境 最封鎖と海鷺軍の廣州灣附 記私爆により、南支海岸線 よりする援蔣物資輸送路は

本 至ったが、現地軍としては い 事の行為を厳重監視すると ともにその程度如何によっ ともにその程度如何によっ

は 行使の指置に出でんとする 、しかしてこれら各地の の境線を国める第一線將士 日夜の緊張振りにも軍の一

とのしのの態度関係を

面の科學的研究離關として の科學的研究離開後並に產業

用支軍嚴重に監視

厚生科學院創設

(日 曜 日)

一般に関し中央地方官に隔極の運営、関兵法等の関政と職勢策、興農勢策、閉拓を職勢策、関兵法等の関政

七月

日處女航交驩

等着

來

世上 (そスクタ) (そスクタ) (を スクタ) (を まつかり) (

その 日

いふ點でいかなる抱負を持いる點でいかなる抱負を持 切したかり からには次は實行せ

これいらが英國

寧安縣下に

がて射つ、遊戲にも

緊密振りに比ぶべくもな 最ひまた

三問題に對する市民の總意

然し住宅難問題に對
昨年度首聯に上程され
市民の切實な問題と

的自衛團を組織、不

の現實に痛感してある。

點があり市民の

四月間三旦の狙上議案

本業は数晶高各分會をはじ め全事各が會總計三十三分 の全事各が會總計三十三分

緩和に關する件

▽住宅難問題に關

感謝に堪へま

「いや海量だ」と仰せられ、大陸で優別語が適切であらせられるのに来内 皇帝陛下には「いや洋量になり首相は「はつ洋量です」と要になり首相は「はつ洋量です」と要上ば御機嫌感ば御謎しく亘らせられたの高細和やかなうちにも、皇帝陛下かる御和やかなうちにも、皇帝陛下かる御和やかなうちにも、皇帝陛下 されてゐるのをみました。何時も心から應ってをりま

られた由である、か が関首相が恐懼して 変質はく率答を申 と要領よく率答を申

京

て保安警察の光質を闖ること保安警察の光質を調るとし続員の保管分そのまゝとし続員の保管の保証を

ある首繁人事異動か獲得改革

八事も右によっ 成想され従来よ があるがき感

亲行

(=)

八趙

0

戰

士

0)

献

金

五十七圓三十五銭と外間品として國内高女日間品として國内高女日學校生徒兒童の慰問女その他慰問作品多数に任るを感激させてゐる

- 七圓三十五銭と外に

死夏 諸 帰 の 午 餐 會 に 拜 す

時艱御克服の御決

福申上げたのであつた

P親しく御言葉を賜ひることが出来ませんでした。 その質の御物語りもあらせられ、米内首相に對してることが出来ませんでした 米内首相に對して

と首相の顔を御覧あらせ

では記元二千六百年を壽ぎ皇室の天機ならび 医大時局に如何に國際情勢が變化しても一德 電大時局に如何に國際情勢が變化しても一德 であるないて言際に實行して射ら範を をしたってこの難關を突破せればなら はないて實際に實行して射ら範を である。

日本の見事在花や植木、官邸の装飾から、建築の御話に懸かな御趣味を御慎け遊ばされ、つないて果物の話から嗜好の話題に移つて閑院宮殿下が日本食について御尋ねあらせられたに對し、皇帝陛下には一日本食は非常に好物で膣内でも敷き、また、皇太后陛下から野菜を賜つたが、公式の招宴等のため、戴に下さりきらに御興意よ加へさせられてからは「酒は米内首相が一番強い」いや松平宮相が一らは「酒は米内首相が一番強い」いや松平宮相が一ちは「酒は水内首相が一番でせう」首相も「私怒宮殿下には「米内首相が一番でせう」首相も「私怒宮殿下には「米内首相が一番でせう」首相も「私怒宮殿下には「米内首相が一番でせう」首相も「私怒宮殿下には「米内首相が一番でせう」首相も「私などのでという」と問答へ申上げる、殿下にはは一升位はのみます」と御答へ申上げる、殿下には

大國務に當つてあるのを心强く思ふ自分は米内首相が非常に健康で大杯を傾けつい仰せられ更に

自分の言は、言葉は炒いが意味は深く心は固い、この動敵の際兩國は益す緊密にやらればならないと儀禮等を超越された畏れ多い御委で御言葉を賜ひと儀禮等を超越された畏れ多い御委で御言葉を賜ひとして

不肖は畏き 天皇陛下の大御心を拜して日滿兩國不肖は畏き 天皇陛下の大御心を拜して日滿兩國



か十一時学寅終了した【劉眞府屋に測示中の王保安科芸統銀品取扱その他について王保安科長よりそれ。 名を廿九日午前八時州分から同應裏庭に集めて傳楽語と の衛生思想著及と最近激増した犯罪演防に關して警長 の衛生思想著及と最近激増した犯罪演防に關して警長 の衛生思想者及と最近激増した犯罪演防に關して警長 の衛生思想者及と最近激増した犯罪演防に關して警長 を対した【劉眞府屋に測示中の王保安科芸な 一時半寅終了した 2谷口司法科長代卿生思想著及と最近 2谷口司法科長代卿 二」等と稱して耐村合して大いに漿爛ら「千振盛」「煙菜不」など將來好個の副業としなど將來好個の副業とし

> 蔣さんは鐵 泥の首魁

> > 務職員招聘

1000

市與安大路四二 時間面談 神川面談 一門業者歓迎△懇切指導△履 智聞の士△二十五才以上内 名別がは第二人

て刷が選化をみるよ 大、人事の刷新等に 大、人事の刷新等に 大・人事の刷新等に に飛躍的なものとた な質に淡ましい有様である な質に淡ましい有様である その他農産加工品には特 数(特米、製物、精奏)

夏の飲物に特産風味な工

毛自給

拓地便り

の日明

在新京兵庫縣人名簿を作りたいと思ひます貴下の原籍現住所職場ください深刻なる住宅難は調査をした。 と同時に御一報ください名簿印刷と同時に御一報ください名簿印刷と同時に御一報ください名簿印刷と同時に御一報ください名簿印刷を加來上り次第御送り致します

単大版補の資格檢査 り七月二十日までに支部 り七月二十日までに支部 り到着するやう申込まれ たいと

聞

(日 曜 日)

司

演と映畫の會」を開催憲法精神を强調、國法部では富日午後六時から協和會能で「講

ワ

ン

君の

適齡

B

股

警務科に科別警正一名を置いて官房制を採り管下各署いて官房制を採り管下各署との事務上に敏速なる速縮を関うを関が複なを接正に昇格せしめて関都衛生の完慶に一段とて関都衛生の完慶に一段と

は一名を「醍醐味」 一ダイビス」は一名を「醍醐味」 一ダイビス」に似た『ダイビス』、葡萄酒に似た葡萄ショップ である。これらは農園期を利 等々がある。これらは農園期を利 等をがある。これらは農園期を利

を正場に出してをり近ごろの を正場に出してをり近ごろの を発験が多くが生産減退を来し のるものゝ盛夏の候を迎べて一を のない。

日

女子從事員(內地人)若干 面會日廿九日(土)卅日(日) 自筆履歴書持参本人來談

會合

兵庫縣人會事務所

事務所迄御來談相成度 年齡十七歲より二十五歲迄

希望者は履歴書持多の上金泰 青陽ビル 女店員募集 三六八〇五

高藤事

武務

兵庫縣人下乞

3.

つちぎ 鍋に后る 魚料理

電の三四七九 大隆大大經路一〇八 大隆を重象機具、オーバー背廣各種が

一、資格高等小學校卒業程度以上の學力を有する身體程度以上の學力を有する身體和工程的別日 七月二日高端鐵醫院 高興二枚、履歷出書類 高興二枚、履歷出書類 高興二枚、履歷出書類 高興二枚、履歷出書類 高興二枚、履歷出書和別日 七月二日 新印込相成度 運轉手募集

御希望の方は電(三)六七二七番へ 質われ度し 世長われ度し 変見家に

大經 路 屋 西商

夏の 戶 苦 御家庭の製作御註文は を 忘 九 種 3

諸師を送つて奨勵に努めて

灼

熱

0

献集めて

た一人関

工事語表

不感激の味 特にお薦めしたいのは

國都最初の生魚即席料理の味

日開店

完成役しましたので明日から開店致します

3 はる



満鐵劇研究會

銃後職線へ

謎 0

コント



笠高三水 智倉浦戶 光光 衆彰千子 高伏見見信

明日躍は

半島の 二が朝鮮の第一流スター

演共 子英日春





高島の活斯で 高島の活斯で そ千金の價値川

六二時 だっル n 3 ロンフ

お茶茶道具

0

店

みどり茶

員 滿 川學多活日 御 榮 冠 藝能祭コンク (賞金 **戸の巨篇** E 篇

製建開新都 雄文 羽丹·作原 逢眞 結戀 初山超駒近婚愛 夢み は なれば 就 新逢真 流治





エキゾチズムの歌コー

作力回三第

畫映

紫

實

隊兵と生學女

出演珍井松

演出總劇歌女少家寶

持つ香り

食 料酒煙 料 水 品 飲草

競幹夢

子治子質子

作原 雄文 羽圓

喜松大友加多浦加

ルテホトマヤ

乔八三二五①話電

雄重中田

かた白非熱

御の

花瓜

果亞を紊すも

【寫質は有田外相】

大なる關心有意

送放相外

容內說演

知何を開はず否認せんとす を明を開ばず否認せんとす をのであるが、この際さら にその猛省を促すとともに をのであるが、この際さら にその猛省を促すとともに をのであるが、この際さら による現状の打開を理由の による現状の打開を理由の による現状の打開を理由の

お 一十二分を削し北村へ連)山 十二分を削し北村へ連)山

をしたが、敵は江岸にあ 五龍口に上陸を敢行せん 五龍口に上陸を敢行せん で陰を利して幅二百メー

一學上映中

且昌の對岸に日章旗

朝

対変 定年

全宝 概整

特鲁鄉:

75

殿性に 下、

見秩

4山

新華行

AAA

百二十刊友的版本

日

行

Bi

有題外提出外 毅然たる皇道外交宣明

皇太后陛

御催

あることも言明して置いのである を排びついては常いたる帝國のは かたる帝國のは かたる帝國のは 置も有する

河内に向け出發した 西原少将一行 西原少将一行 原東 中九日發國通」 は 監視員西原少將一行は 思視員西原少將一行は 日午前十時十五分廣東 一般 一般 一個 原東 中九日發國通」 は 一個 原 少将 一行

日本でで 一角と見られる別拓總局長の 一角と見られる別拓總局長の 一角と見られる別拓總局長の 一角と見られる別拓總局長の 一角と見られる別拓總局長の 一角長は更に義勇軍訓練本部中の 一局長和互征夫氏に總局長就 においても別拓誠策の重要 においても別拓誠策の重要 においても別拓誠策の重要 においても別拓誠策の重要 ための内を形を進め憲請中の

越柱鐵路完全に遮斷

田

關(境要衡)を占領

中に發分を見る選びとなっかいの最拓務省並に同氏の

稻垣事務局長起用

電路下には我又宮殿下の御殿 無を開石され御入京を同時 無を開石され御入京を同時 に悪宮内府大臣を御使とし に悪宮内府大臣を御使とし に悪宮内府大臣を御使とし に悪宮内府大臣を御使とし

歌談の御後御揃ひにて午餐 かな御挨拶を交させられ御かな御挨拶を交させられ御かな御挨拶を交させられ御がかる御挨拶を交させられ御がかるのでは、一個野面、御先着の秋父宮は

太后陛下、皇帝陛下の御まひられた、皇帝陛下の御集ひかは直宮標ばかりの御集ひであらせられるので御敷ひいた。 は一層御近 - くはずませられた、御宝御終するが、御宝御終するたたと

【東京發國通】女子學習院 に御訪問中の蔣宮線には に御訪問中の蔣宮線には に御訪問中の蔣宮線には に御訪問中の蔣宮線には に御訪問中の蔣宮線には 下に御勤額遊ばされた

兩宮殿下御訪問

【上海廿九日漫図通】上海 ・ 大の衝撃を興へてゐるが、またも ・ 作家が暗殺され各方面に多 ・ 作家が暗殺され各方面に多 ・ 作家が暗殺され各方面に多 ・ 後七時頃共同租界の中華 ・ 路附近に差しか」るや突 ・ 路附近に差しか」るや突 ・ 路附近に差しか」るや突 ・ 路附近に差しか」るや突 新移時英氏 発明英氏 慶空襲 陸海空軍協力 十九日東京サクラホテへ保善一郎氏、運送菜ン 本日曜は 藝能祭コンク 時一十前午

部

洪軍に進駐命令

ロンを

ッく兵をよ ア進駐完了

保護領化 聯政府

(-)

に看見外見夏地

所に関係各地

政上

(ブタベスト二十八日愛國 通) ソ聯のルーマニアを終る各 図の關係は極めて複雑を告 がるに至つたが右精勢に鑑 スハンガリー政府常局は廿 、八日午後ハンガリー軍職に

までの量には遠してをらずでは未だ積極的にくみ採る於ける出油は現在のところ於ける出油は現在のところ

で各方面より多大の注目を形態をも決定するものとし

な試錐調査を先決問題としまたこれが窮極の效果を またこれが窮極の效果を までの量には差づ徹底的

關

蠶糸業

一、満洲開拓民盗田計畫は 不可能だと云ふ一般日本 人の觀念を押し即つて今 日の状況に迄開拓事業 様で、公社の内容は五月一日 一、公社の内容は五月一日 一、公社の内容は五月一日

二宮新滿拓總裁談 今後 をするから日本にといるから日本の場合に應する如ら日本の場合に應する如ら日本の場合に應する如ら日本の場合に應する如ら日本の場合に應する如ら日本の場合に應する如うで表示のが使らに應する如うで表示が使らに離反射があることを認めるにといる目をは関係を受けてある。 を対したいと思ふるは関係の関係を関行である。 で看所のためにとして機構のであることを認めるにといる目が現底をは関係の関係を表示といる目をの大事業がある。 を認めてある。 で表示があることを認める。 で表示があることを認める。 で表示が、と思ふるは関係のである。 で表示が、と思ふるは関係のである。 で表示が、と思ふるは、と思いる目を表示を表示。 を認める。 で表示が、と思いる。 と思いる目が、と思いる。 と思いる。 と思いる。 と思いる。 と思いる。 と思いる。 といる。 と思いる。 といる。 とい。 ぎると言ふ事であるが も物も現時局下に逆かるに注意することは、何時 を強めることがであることは、何時 を進めてが選逐と別うは を変を進めての部門に於てるのかからぬやう を変をがある。 を変をがある。 がなるので放っては が変をがある。 がなるのがからぬやう が変をがある。 がなるのがからぬやう が変をがある。 がなるのがからぬやう が変をがなる。 がなるのがからぬやう がなるのがなる。 がなるのがなる。 がなる。 がな。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がな。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がなる。 がな。 がなる。 がな。 がなる。 がな。 がな。 がなる。 がなる。 がな。 がな。 がなる。 がな。 日支の

来月二日興農部を中心に審議 の一致を見るに至っ の一致を見るに至っ

強先整備についてはかれて 強先整備についてはかれて で計畫に即應し滿州農薬の で計畫に即應し滿州農薬の で計畫に即應し滿州農薬の では、農産物大州 實踐指導本位

本部に新書を組織せしめる 一、輸入組合は物動年度に で、輸入組合は物動年度に で、輸入組合は物動年度に で、輸入組合は物動年度に で、輸入組合は物動年度に で、輸入組合は物動年度に

メン

シ

対

変

石

蒙

左の如し

来や果物で作な飲物

美味い畑煮

佛小揚物料

滿鐵

の貨物輸送

う うな人々である。だが賞を 住み、そして吐魔でのわと れらの共同生活のために れらの共同生活のために ぶれてはならぬのである しかも今や日常生活必需 に 忘れてはならぬのである もの魔給に、或ひはまた おり関くなつてなるのである。新しい體制でのわれらの生活は一層の近隣

阜新 野力、率性に對してわれ、な地位とのた人で、さうわれは衷心から感謝してした各級職を自ら退いた。 おるのである。今日では人があつた。後進に道をせための仕事の強大によつてられてゐたと記憶するが、準に強々質はし、仕事が非常、時は質は不當な扱ひに不に強々質はし、仕事が非常、時は質は不當な扱ひに不に強々質はし、仕事が非常、時は質は不當な扱ひに不がは、一個らかの適切なわれらの、満を感じてのことだつたとも傳へてゐるのであるしからう。建國以來幾多のれけてゐる。それに對してあらう。建國以來幾多のれば動の意を表する方法がしかしその殆どは官吏である。あり軍人であり或ひは特れ、が 重點

0

型を含く、きてもくしる。 ・ とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙とした新會社設立は一時沙路としては當分の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間從來。 ・ 一次で日本地清波氏の間後來。 ・ 一次で日本地清波氏の間後來。 ・ 一次で日本としても今後端石に 動を置くべきであるとの要 がに探誦を焦らずば難に重 がに探誦を焦らずば難に重 者を新京に招致し民間側の においても最近大連金融等 政府は日園資金調達不圓滑に到慮し最近減洲國内より間限を加へてゐるが、これに国邦して國東州向は現在に国地となってゐるので開東 和せしむべきかよ重要問題 の金融統制方策を如何に調 ので今後關東州と高州図と ので今後關東州と高州図と ので今後關東州と高州図と ので今後關東州と高州図と ので今後國東州と高州図と ので今後國東州と高州図と ので今後國東州と高州図と ので今後國東州と高州図と ので今後國東州と高州図と

送金調整

の協力を求め

新風化の状態に立至つてゐる、仍つて政府はこれが輸 人量の國內確保を圖ると同 時に需給を調整して價格の 時に需給を調整して價格の 時に需給を調整して價格の

作成せしめ新制物債物資養用の公認を與へる方針である

統制組合組織 と見られる して減収の傾向 して減収の傾向 して減収の傾向

糖、酒類 減少とな

返となっては野

一セントと 小に對し特 不材五九パ 大が鐵製品 △右處分 三、○八八 ○ 一、法定積立金 二二○ 一、前年度繰越金 一、〇二五 一、〇八人

麻栽培状況

ベニヤ

板の

滿石で鑛業部擴充

を置

十八萬庭即十八萬庭即 一川、昭和十四年度利益金一川、昭和十四年度利益金一川、昭和十四年度利益金

深度と関東州とは事實上離すべからざる經濟關係が成立してゐるので對日資金問題についても臨時爲替局に よる對第三回爲替並に貿易 統制に見るが如き滿關一元 化が不可避の狀態と見られ るに至つた

六月中旬も旧盛

度総越金二、八七八

を持たせると共に從來 兎角 型兜的に偏向せるを改め質 型兜的に偏向せるを改め質 ●脂肪を補 ●お ●食欲き ◎夏向 ◎ ◎夏の野花

主備農事試優場を中央農事主備農事試優場を中央農事業機が出方農事試験場とし、機を地方農事試験場とし、機を地方農事試験場とし、

を助して生物を動して生物を動して生物を動して生物を助して出るであるに対したが、 本たすと共に日本系の経過期の結果は價格の任 上級品需要は恵よ減少に こと」なるのであるであるであるである。

新組織は中央農事試験場の 下に哈爾濱、住木斯、克山 作品城、錦縣、王爺屬、外 三年計畫を以て新設される サ丹江、哈爾濱、熱河各屬 以來設立を見た各省勳農模 以來設立を見た各省勳農模 動が直接質験部門となる四







强烈な配色が消え

盛夏吳服

を抑へられるやうになっために紋欄やぬひとりないとが、公定價格でピシットして平機風の策がうまたのの策がうままのぬひとりをして平機風のはよりなり、はないとりを、はないとりを、はないとりを、はないとりを、はないとりを、はないとりを、はないとりを、はないというない。

分ないものです、能登上布 は正絹で三十関前後、人絹 を織の八、九圓程度のでも 夕凉み位には結構着られま

ですです

品質が悪くて陽にやけ易い ものや、洗濯して色の出る ものが多いやうですからあ まり賑かな色づかひは實用 向でありません、むしろ單 色の濃淡で行つた方が見る

最近いよいよ

三十圓前後の銘仙に

な意匠

がみら

れます

(En)

が加といり気品といつても上たいのは何んといつても上れです、中でも朦朧上布と初って宮古島で遊する銘柄あつて宮古島で遊する銘柄あつて宮古島で遊する銘柄のです、着工屋を占めるものです、着

では見る限も深しい盛夏もの、汎濫ですが、今年の盛夏 ドは見る限も深しい盛夏もの、汎濫ですが、今年の盛夏 が、それだけにお飯段も百 頃で着心地もサラリと深し上 上 が、それだけにお飯段も百 頃で着心地もサラリと深し上 上 が、それだけにお飯段も百 頃で着心地もサラリと深し上 と 高級品中の高級品で大衆か、ます「明石上布は新潟縣十 ちは練の遠い代ものです のよそ行きと 縮加工が施りた皆のやち であったがあり のなら明石上布、男物では ました

日町を中産地とし近年は防 と 縮加工が施えし近年は防 と 縮加工が施えし近年は防 と に計 縮ひむ は 1000年 1000年

が翅が生えて飛ぶとし、 た有様です 一方即石に飽いた中年婦人 た 中インテリ向に捺染や絣の 丹 やインテリ向に捺染や絣の 丹 やインテリ向に捺染や絣の 丹 ですが、五、 ない。 たっれるやうですが、五、 のいた中年婦人 た

をひそめて優美な組織で など全く市場から姿を消し たやうです、京泉服中でも 一・や越前、越後あたりの平 りや越前、越後あたりの平 に行きに数ばれてみめる に行きに数ばれてみずってよ

で機木ここのいに画前を ・ ので大阪の ・ で大阪の ・ で大阪の ・ で大阪の

ス遷化

ら上布系統の縞のち 野山外の は林で出来る人絹交

びは重も前後で大匠以で

てのよう

生められる

色は 賞媛烈な配色 り 単純な配色が涼し気であり 単純な配色が涼し気であり 単純な配色が涼し気であり 単純な配色が 夏は矢嶋

色相

たものや、 速にあつさ たものや、

やア

ん、

あ n 買

つて

I

食婦 て巨萬の富を 植んだ人の中にも「子供に だはは自分の嘗めたやうな 苦勢や不自由を知らせ度く ない」と不足といふものを 知らさぬ方針を採つてゐる

0

出るとムラがあ

よく で見掛けるのですが五つ六つの坊ちやんを連れたお母さんが玩具部の前で子供にせんが玩具部の前で子供にせんが元具部の前で子供にせんが元具部の前で子供にせんが元具部の前で子供にせんがまれて困つてゐる

#すまでもありませんが、 中すまでもありませんが、 こねるやうに育てだといふ 所に根本的な教育の缺陷が の日本人は贅 の日本人は贅

摩生や中等學生に 原分立派な服装を のであます、子供達

管澤なものが多いやう や中等學生に不似合な ・
學用品や身週品も小

帯だといはれ

るます、子供が大へん欲求 です、幼兒たちにはあり徐 なほどの玩具が興へられて

(日曜日)

くることが必要です それには十パーセントの 食鹽水につけるか、ワゼ でおいてもよく、また石 でない、バラフインを塗つ でない、バラスインを塗つ でない、バラスインを塗っ であれておくのも一つの方 法です、何れにしても夏 は冷たいところに保存し は冷たいところに保存し

をいふるのを知らずに人 といるものを知らずに人 となる子供は果して幸福 でせうか?子供は現實生 でせうか?子供は現實生 でせうか?子供は現實生 の欲望が滿足されないことによつて待つこと 認ぶことを學ぶのです。 ある欲求が即座に満足されないことによつて待つこと を選ぶことを學ぶのです。 ある欲求があつて忍耐し、 多のです、そして遠大な目 が成代のです。 ある彼求があって忍耐し、 を関係するものかを體得するのです。 をして遠大な目

大切

大切 なことは光線 一大切 の性質と強さ が内の光の中に出ると白 が内の光の中に出ると白 なことは光線

かを置きます、かに に

Wけやうとするお母さんのとも無いのにその場限りの場を無いのにその場限りの場を切りてその場を切りている。

何の不足も知らず整澤の中に育つた子供達が、大きくなつてどんなに不幸であるかを、質に思つてみて下さい。現在子供に異へる満足に決して子供の為のものでなく、それは唯、御雨親、あなたがたの滿足にすぎないのです

广説解事時= 大戦が南そまず

帝

0

如

車事行動をした獨逸 に於いてあれだけ がして、白蘭北佛 にないてあれだけ

ある来は°るを本果

ま動る圏を今をの脅れも機で削減にこうまで削減を在元まり、内れらの場がでしまる出し、大変必防衛空にである。 注る製大変必防衛空にである。

と却つて孔を室ければましたら無理

切つて乾燥させてい時は必にない時は必にない。

はす置め防まコメそもするかけていれののから

を料も底す錆タッと丁

たりいたんだりしますからくこと、元来トタンは鎌板くこと、元来トタンは鎌板くこと、元来トタンは鎌板ですがら壁を破金したものですから壁がなっていどく繋つたりす

こつちに寄り或 お互ひに何や彼 化粧室

7

G

一度水をくぐらせますとびつくりする程前みます。仕立てゝある浴衣を買ふ場合は自分の身丈より三四寸長は自分の身丈より三四寸長

ことを學ぶのです はありぬらぬ

するから買つて異へるとか するから買つて現へるとか しに、未だ使へるのに更に しに、未だ使へるのに更に ものを買つて異へた り要求もしないものを先週 かして買異へたりする親が

を取替へて仕掛けます、 査 ・ と取替へて仕掛けます、 査 ・ 査も夜かけつ放しはいけま たった で一度叩いてみる奴がった。 は大髪利口ですが せん、鼠は大髪利口ですが でのよど兄

には変観に保の経 をして置いて縮むに をして置いて縮むに をして置いて縮むに は立てる場合しま でしまで を のに仕立て る場合しま

子供の愛に溺れ、金や腹 質ひ度いと思ふものをその ないと思ふものをその ないと思ふものをその ないと思ふものをその ないと思ふものをその はて、して

鼠捕っ

(摩叮速迅)

親鼠に小さな年

尺田に油でさ鼠所そのの触が

けの捕ま鼠 たでせるはづけける をはずは所属をもはずけいます。 ないかな をもはは、 をもはは、 をもれる。 をものでは、 をでして、 をでし、

ともなれ あれだけ喋りたい言葉な でを店員の略とれに應對 時には相手になって「髪 でなられるが、併し總じ お面のやうな硬い表情で べてお客様を満足さす人が 答へる、もう少し微笑を かない、お互ひに同や彼 答へる、もう少し微笑を かない、お互ひに同や彼

か

な「そんな安いものはあり」と冷笑的態度には一个間と話しするなんて以来の外だ ▼……大衆を相手とする でパート電事者はもつと べきではないだらうか日 べきではないだらうか日 N さん

は限に除るものがあるの は限に除るものがあるの にだ、尤も、サービスガー のルばかりでなく近頃の小 嘘へ行つてもだが、内地 嘘へ行つてもだが、内地 で洗練された女店員の應 で洗練された女店員の應 を 動になれてゐたものにと つては日系の若い女の子 スフ入浴衣は中分以上このごろの浴衣は中分以上このごろの浴衣は中分以上

煮豆には醤油を使ふのが一 してから最後に塵で味をつ してから最後に塵で味をつ してから最後に塵で味をつ してから最後に塵で味をつ しるをとならず老人にも喜

煮豆には礁を

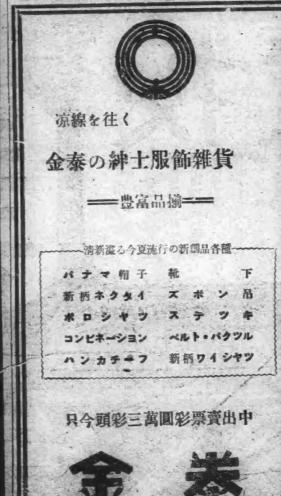
すけ手取と時と

特漫文 2

電 企

三十錢 一日限り 日 ツーポス 化文 樂娛 局 つばめの愛情 ミッキ 内の砂 ーニストルーニー エー 二〇九米 三二七米 四五九米 01一米 五五一米 七 七







ŒŒ

8



古野山は櫻の名所であるが 青野山は櫻の名所であるが ので連絡がひらけ蔵王堂、 りて道路がひらけ蔵王堂、 りて道路がひらけ蔵王堂、

たり、主上は難で詩の心をおせく笑ませ給へり」とあると 快く笑ませ給へり」とあると 代に天皇は朦皎を逃れ給ひる 出雲に御上陸あり伯耆の が相ついできてからは京都 に入らせられた、之によつ たみらせられた、之によつ ある

ラヂオコメディ

します、御主人はだらしが のがうまい 変器を洗ひ終ので漂れた割 た口論にな を満めま、新聞をみようと は御主人が がっました所で奥さんは ないととが は御主人が

アンテナクラ

に装れ労らぬ勉強振りにその成果を捌待されてゐる【カット絹代のお千費】三味線の稽古に餘念なくお千賀に扮する田中絹代は大阪癬の練習、中村芳子を京都廟原に迎へて「浪花女闘中の盛澤山な淨るりの錄書を行ふ一方主入公竹本織太夫」三味線衞澤道八、體澤廣助、鶴澤重造、人形吉田榮三、古田文作品一浪花女」は六月十九日撮影開始十八日より二十二日まで大阪文樂座の作品一浪花女」は六月十九日撮影開始十八日より二十二日まで大阪文樂座の

演藝味もある

長谷川一夫の顔合せ

特川」等契約俳優の活用に 力を注いでゐる東費では更 の大久保彦左衛門、長谷川 の一心太助で初顧合映畫を

の新企畫



男泣きする喜劇

一一し 田村邦男は妻と かの非に身を苛まれたので あつた、脇を絶つ様が梅慢 あつた、脇を絶つ様が梅慢 別れ去る田村邦男の変佗

ると聞き、飛び立つ思の満 選に彼は我が子祥子ちゃん と巡り合つた

四を計上してあるが目下開 的に公開すべく、豫第百萬 的に公開すべく、豫第百萬

◆…そして更に短篇上映とせずに心ず題名を廣 とせずに心ず題名を廣 告してほしい、帝都や ま▼で上映された「友 言と馬」は宮城道雄の 季で伴奏された詩情體

分野として注目されて るたもので、これもう つかりすると見落すと ころであつた。 に任せておかず、自ら に任せておかず、自ら か野として注目されて 気野として注目されて

民

0

最近の日活問題は強く内務

「民族の祭典」は映畫界近来の大物與行であり、この来の大物與行であり、この無行はいるいろの意味で、與行界の注目を惹いてゐる。 與行界の注目を惹いてゐる。 與行界の注目を惹いてゐる。 果をこの與行は招いたか? これを單に收入の點だけで 云ふと大成功であつたと云

前賀券は既に大部分を費り までの平均は一日

U

六、〇〇(新京)子供の時間「今月の出事」 新京中央コドモ劇場 大二五 安東 座談會「折」 大四島嶼、登本桃画 音山雅県門、石川敦一郎、

封切追る

日。 〇〇東、新 三、三〇(東京) 三、三〇(東京) 一、五九(東京)

へたへ

一、五九(東京) 時報 林 二九太 林 二九太

十萬圓突破 ネオン街女性に人氣?

地から總計六百七十五通の地から總計六百七十五通の地から總計六百七十五通の 季燕芬日本行お流れ

日本最初の

補映スターの日本映査出演は東寶映査に於ける本 ・中滿系大衆間に於ける人氣隨一のスター季瀬芬 ・中滿系大衆間に於ける人氣隨一のスター季瀬芬 ・世間りたき旨の交渉あり

日活問題

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

世んとしてゐることは注目されてゐる

【寫眞は季燕芬】

でに業者に示達される筈でに業者に示達される筈でに業者に示達される筈では当時では1日下深者の許同が蒐集した諸般の許可を選げて居り、此の許可を選げて居り、此の許可を選げて居り、此の許可を選げて居り、此の許可を選げて居り、此の許可を選げて居り、此の許可を調査研究

内務省を刺戟 「製作、配給事業の許可 な加へることが必要で を協力せず自己の事業の と協力せず自己の事業の と協力せず自己の事業の はなかかっ ことが必要で

半島の

供の心に選ぐやさしい大

と組んで描く美わしい内 二が朝鮮の第一流スター

新築地閣画の名優薄田研

綴方教室

鮮融和の物語、費しい子

圓形を行こは上手な洒落 ・ 應募を見たが、 さて全作品を三浦養臣副 を決定來を七月一日付公 を決定來と七月一日付公 を決定來る七月一日付公 大久保彦左衛門に 出來ず周圍の人も手を引いたのであつた ゆくりなく會ひし東の間の喜びに代る淚、いたいけな洋子もやんは彼の妻女が手許に引き取り新京人で自分の生活を誉んで行って自分の生活を誉んで行って自分の生活を書んで行って自分の生活を書んで行って自分の生活を書んで行って自分の生活を書んで行ってもの興行地佳木斯へたつて行った。

本一等〈賞金五十圓〉吉 林市省立工業指導所勢滿 雄 本二等〈同卅圓〉哈湖濱 古田耕作 本住作〈同演藝招待券〉 十二名=〈新京五、率天 十二名=〈新京五、率天

旧見見

線に六月の業員の如く贈 のかな様で人々の心の楽 群の片田舎の小學校の



服部富子初主演

上海の花賣娘

展出品

影

近

膝

光紀

カれるある

(日曜日)

所地から初めて 特色もなにもなく 特色もなにもなく 特色もなにもなく 着のやらな家が立 並んで、そして宿 並んで、そして宿 をのオタゴタコとて宿

なのと、おまけに には、大抵の旅行 をれは大量この地 に住みついである に住みついである。 に住みついである。 に住みついである。 たれれわれでさへも この都を決して住 このなどとは思らた。 たれなどとは思らた。

さころかすつかり どころかすつかり

話しではない。土

北島德

で兄の横に腰を下した。 か私は石のやうに歌り切つ いれば石のやうに歌り切つ

11

前者は生きて尚轉長し得れども後者は死す を生かしては遺さず。 あゝ、この無悔が原説へ あゝ、この無悔が原説へ カンット時代そのまゝに今 つたなら、同じく潰される かにしても、もう少し何と 毒ある蛇に向つては躊躇一落を

ルタセンブルタに付ては ・ 餘り新聞にも詳細が報じら 二ヶ月間に六ヶ國の王様や 一方月間に六ヶ國の王様や ではないと云 ではないと云 へ云はやのらは

美しい夢・森田たま

旋律の泉シューベル

天野貞祐

で、今や世で倒して、

歴史の足らざる部分: 説に、戯曲に彩色響さんのいみじき筆に依つて のいみじき筆に依つて

たかとも思ふ

時期」から喚起され

したバイ

の間

信仰と理智に就て河上徹郊

女性風

俗 時

水に躍る

女性美山川

場であった

らいてう

「あゝ、五時だ」と言つた 「あゝ、五時だ」と言つた それは、早稲田の方へ家 庭教師に行つてゐた爲に、 今夜もその時間になつてゐ

私は、六年振で今會はうる母と推薬の額がとしてゐる母と推薬の額が

上つて顔を見合せた。 私の心の底からの叫び、 田棚しの情は、寧ろ六年振 に見る母の姿に、驚愕の色 に見る母の姿に、驚愕の色 に建つてあた。母の顔は、 年老い、凋落の秋をさへ思 はせるのである。美しくそ して化粧上手であつた昔の をと、零落せる現在の母と の間は、大年の歳月が如何 に意味深く流れたことか。 私は自分の六年間の變化の をと、零落せる現在の母と の間に、大年の歳月が如何 に意味深く流れたことか。 私は自分の六年間の變化の そして私は、当ち はなると言つて、母はすで、 タ食の仕度に取りかゝつた。 食する時になつて、母はすで、 食する時になつて、母はすで、 をする時になつて、私は不 のである。 してゐた。私は歌り込んだ、といふや と全然關係のない話ばかり してゐた。私は歌り込んだ、といふや をである。 を登場の間、兄と母は、私 と全然關係のない話ばかり してゐた。 を登場の間、兄と母は、私 と全然關係のない話ばかり してゐた。 とをが、子供の頃のやうな してゐた。 とをがは歌り込んだ。 といふや るた。

彩了

ある。私

「ええ?ええ、私もそんな事は思つてはぬない」母は すぐ帯しい表情に變り、温 つぼい悪で答べた。 母さんに 育てて貰つた

たのである。 やがて、私と様は三人きやがて、私と様は三人きやがて、私と様は三人きに、無意識の握に引き込まに、無意識のである。 はれてるだのである。 はないで、いつかはつきりないで、いつかはつきりないで、いつかはつきりないで、いつかはつきりないで、いつかはつきりないで、いつかはつきりないで、いつかはつきりないで、なはそれには答いとの今の気持を裏切ったのである。 しかし、私はそれには答いの今の気持を裏切ったのである。 it to

る、又豊かな情操を持つた カアリストでもある、三中 中で開催されてある個人展 の作品三十八點はいづれも 色彩と適確な表現とをもつ れは所謂(年期を入れた) ゆゑんであると共に、その がなきトーン、そして最も ひなきトーン、そして最も ひなきトーン、そして最も ひなきトーン、そして最も 盗等の静物、人形の大作、小品共に、その風景人物よりも多くの美しさを持つである。就中、八號大二點の概を描いた作品は桃色と青とで限どらまれたじらたんの上でその柔い生毛に包れた水々しい姿を絢爛と輝かしてるると云ひたい、婦人きてるると云ひたい、婦人

地柄、内地の下町 したいではないがす を乗らし、床儿に を乗らし、床儿に を乗らし、床儿に を乗らし、床儿に を乗らし、床儿に ををかけて夕方の なんがではないがす くなくとも、なん だが、から潤ほひ が涸れて来た生活 まで立至らうとしてまで立至らうとしてまで立至らうとしてまる。 マーン、朝顔を描いたも美しい、たぶ海を描いたもの、又山を描いたは、大いに吾へるとは作品優値が禁いるのよりは作品優値がある。 これものを残が立ての書家として、 神の感想を述べたが、 以上又やむを得ない、 は上又やむを得ない、 は上又やむを得ない。 とりは (本) は (本 別の感想を述べたが總括的に考へると何かものたちないものを感じるのである。 されはなにか?一言にして、 ではそれは作者の個性が ではそれは作者の個性が ではないかと云ふことで ある。作品一點を出されて、 ある。作品一點を出されて、 ある。リアリストとしてのではないかと云ふ名前が思ひ出されない。 これないかと云ふれ憂でいる。リアリストとしてのではないかと云ふれっとで と思つた。だが彼は常に彼 る。彼の妻はそれを不當だ る。彼の妻はそれを不當だ

にも通じた近 なを持ち始 だえを持ち始 は多くの暗潮が起つた。 は多くの暗潮が起つた。 は後が間違つてるたので る。彼は田は十石に高 三百元と小作料が入 った。どうして である。後は田は十石に高 たち、誰が飯を焚き衣を洗いいが)林黛玉の性愛態度いいが)林黛玉の性愛態度いいが)林黛玉の性愛態度に変性して形成される。毎日男と自由に変渉するのは 巧、花に に田は十石に満たず と小作料が入らなか とうして一人の林黛 で、毎日 で、毎日 で、毎日 で、毎日 で装塡點綴式である、会 (模夢式とは相反してゐス (模夢式とは相反してゐス

た落ちつきを作品上に漂は してゐる。總數三十八點の 作品が出來不出來なく粒が 揃つてゐるのを見てもこの ことは背ける一水會賞を授 してとは常ける一水會賞を授

以際地嶼展開る。

は が ラ人形の解物などはその 最も典型的な作品である。 この作家の質的に又量的 に秀れてるるものはは物のと に多い。 の作家の質的に又量的

つた。話がぶつんと切

田村泰次郎

韓

☆窓

外(短歌)

: 佐藤佐太郎

わが國最初の女智題

リシェル

戰

7

のト

友性

柏

生氏

語

「女の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建かてるのためのである。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
この作者もこんなものを書いてるては困ったことであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。
とであらう、これぢゃ「作家の建設」は出来なった。

洋畫個人展

印象記

氏

2

支那舊 ける三種 の愛 於

或る人が初めて結婚し、 そして別れた、その通信に 後は彼女に響いてやつた。 「紅樓夢は女子必讀の書で ある、贈は細贖し、その中 にある意味を體會すべきで 国、華貴な用具、奢侈食、それらがあつて始食、それらがあつて始まって、一個の実験が功する。一個の実験が功する。一個の実験があった。だがある。だがある。だがは、本質になるるには止まら

これは近年の事である。 第二種のものとしては 第二種の性愛を擧げ得る この種の性愛は現在商薬 市及び最村の豪商地主が 市及び最村の豪商地主が であるものであ たがいる。 方がいる。 来はた南 あなな都 つ都

3

夢の支

☆スポーツ 農 心得帖

生のから易い時局犯罪 はのから易い時局犯罪 はのから易い時局犯罪 は破損罪が必要を

海へ行く人の為に 女性の幸福を競 る改正刑法 旅

努力と諦めいると

真操保護法の制定

一米に就での主婦の個は答ふ

一条養上と調理上の立場から

変と罰との間・ヨーニー

#

でしい體験を通じて…赤は #

病毒と體毒が 氣持よく取れる

を発している。 を発している。 を持ちると、 をもると、 をもると。 をもると、 をもると、 をもると、 をもると、 をもると、 をもると、 をもると、 をもると、 をもると。 をもると、 をもると。 をもると。 をもると。 をもると。 をもると。 をもる。 をもると。 をもると。 をもると。 をもる。 をも

記思響

師の言葉僧悪の年月

とは子 11 力 和町三丁目三番地



満學米と利潤統制の話標 室川 稲 光 利 子

旅雁日記編生子上 権毒しつ冷毒の人 傳や腦梅毒の人 出物ニキビの 經痛關節炎の 化症高血壓の

勝馬豫想

版 馬 馬 大 孝 也

上鈴野相川 、 野蛭奈田梶熊相上調內上 六 浦內蛭 郎 以 本川良井原谷松口野田田 〇 川田川

発甲龍田 二 小甲松谷上相野田 二 蛭岡松野相斐甲 要 部 第 当谷井 四 川啓田尾田松本井 二 川野尾本松 り 均

变元

典亞亞

(日曜日)

で開催される競技大會招待 同に對する代表選手團派遣に つき協議の結果補場一致で

此島

で第二次募

古油障碍優勝、外馬障碍優勝、外馬障碍優勝、本油優勝、本油優勝、外馬障碍優勝、外馬障碍優勝、外馬障碍優勝、外馬障碍優勝、から、古油優勝のといる、古油優勝のといるといって大手瀬戦を展開するだらう

を飾

3

(六)

(可認物便鄭正三第)

▲七月九日、十日(火、水) 第三回新京水上競技需 京代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市 京代表選手並に全滿都市 等學校水上競技新

市民農園

主へしたしむとともに自然の喜びと自給自足の精神作の喜びと自給自足の精神作便しい親心を示した和平大衛間放は異狀な好評を呼んで強定の四十口二十六日中で現立なほ一口五十坪で貴科は五個であるから至急公園科が多く特殊會社の収穫制であると十四日建協高女や特殊會社の収穫制であると

随を許さざい

る抜群の功績

一二圓一○ 本第八菱島(一、六〇○米 一四頭)1 瀬香(二分一 一四頭)1 瀬香(二分一 三頭)1 瀬香(二分一

計器關係 第二回計 野球大會はけふ三十日午前 野球大會はけふ三十日午前

り極めて早

本療法の原

に冠せらる

胞、組織等

る抗菌力を

性は勿論深

蓬莱町一丁目 電話 3180



21 元 五 5 元 井田田良 〇田井川啓 本 に對しても

> と化験性疾患 完全に其の撲滅的 出現せしめ以て表 期に轄内の血液、 **灰(急性、慢性)及** しむるにあり 味炎等)

服內期短法療擊衞

一にかや健: /公奉:御、て育: 兒が吾 見って、 標前や 題に 艶する 胃腸の比較的難らなる



トーバデの器樂絃 古兴水大 回了。問題原新 三③電

徹底した國策運動

・元贈答が減

弘報宣傳の功を嘉賞 謀總長宮 が送協會に御言葉

思想戦の一翼とよて活躍す 緊密なる協力を認ませらい宣傳に闘し緊密に協力し、 るといもに、更に將來益の動設以來作戦に伴ぶ報道 その功績を嘉賞あらせらいの意味總長宮殿下には今文事 らびに日本放送協會に對して東京愛國通)是くも開院 る全国主要新聞、通信社会

本の一般では、 ・ では、 ・ できる。 ・ でき せられ 光榮を拜した田中中外商業を訪し 各社代表者州五名を大本暦

【東京張園通】皇帝陛下に は十八日午後四時より御旅 管赤坂離宮に極代園東軍司 令官をはじめ参謀長、同副 参覧高顧問に任じた本庄、 一室宅、岡村、磯谷、東條、 三宅、岡村、磯谷、東條、 三本、佐々木の六中將なら がに小林、濱田の雨中將等

討匪の勇士表彰

北満地區に輝く功績

京商優勝

金百圓を

面會日廿九日(主)卅日(日)

全滿中等選拔劍道

七月十六日から實施

同の下に厳 正 規律ある團同の下に厳 正 規律ある團団が出線を行ふが、第五區隊と地震落廣場において區隊長地震落廣場において區隊長地震落廣場において區隊長地震落廣場において區隊長地震落廣場において區隊長

時間令官に對し御感いと頻深 陸下には本庄大將他各党軍 関帝官に對し御感いと頻深 首相以下各重

兀軍司令官に

有難き御言葉

武藤元帥を偲ばる

器具作らう

が利用し

忘 机 3

註み文は

十歳より三十歳位、上品素人の方可 月收百五十圓以上保證(多忙に付款 座敷女中さん募集

23 6 休業 店 披露 させ T (1) 爲め三十 きます H H

七月一日の興亜率公日に首

手

な

K

かりをも言ったり期待 品の変上げは總費上高のですが、贈答 に過ぎませんでした をは言へないまでも何が、贈答 に過ぎませんでした をも言へないまでも何が、贈答 百貨店が語る自肅調

拝裝品が多い 内地とは反對傾向 七月の中元期に入れば幾と行き渡つてゐます、然しからとにの話には下年の資上の少いでのには驚いたやうな大第でのには驚いたやうな大第でが、昨年の資上の少いであるやうでと行き渡つてゐるやうで あり、また関防婦人會あたりではこの運動の徹底と対して積極的に活躍されてゐる様ですからぐつと減少して時局に即應する自粛智を養くことである自粛智を表してるます。

面質店の総から見た中元の 直費店の総から見た中元の 意調は强く織り出されてあ を言ふ、さらに一歩奥に ると言ふ、さらに一歩奥に ると言ふ、さらに一歩奥に ると言ふ、さらに一歩奥に ると言ふ、さらに一歩奥に

(日 略 日)

京城記者園 來京 サルロード 一京城記者園 平京 一京城記者園一行 一京城記者園一行

▲大學中退男三▲大學本 男三 男女七百七十の犯罪別を示 すと 三十五歳一四十歳の二六四名、二十歳一二十五歳

朝露ふみ

國産の廿キロ

統計の示す犯罪

社會諸相どの關係

上つ

放火一〇 城物故質四二、强盗一二 放火一〇

示 と漸次上に行くほど減少し 一 意すべきは十四歳一二十歳 の子供二百名が振つ排、賭 の子供二百名が振つ排、賭 の子供二百名が振つ排、賭 の子供二百名が振つ排、賭

並に軍閥時代の無風が抜け

知東亞の空に伸び行く宣傳 短波放送開始

幕京に始めて生れた純ビヤホール

日本橋ビヤホール

アサヒ生ビール直賣所

店 七月一日

新京日本橋通四二(長春座前角

仕事本位の店

付此段及謹告に

第一生命保険相互會社 第一生命保険相互會社 第一生命保険相互會社 第一生命保険相互會社

長 壽の基 辻の紅灸 創業二十年信用を賣る店 (第三月曜)・・・・・平常通り營業 日本橋通二四巻3月五人 ミス大阪 電流 1四歳3 周五へ三 電流 1四歳3 周五へ三 でランタン 平衡 第3 周五へ三 単数道 単数道 ストレス **熊**通 8 5 四七四三(3) 度 横出 上亡 スス ス 東一條近線座新道入口東一條近線座新道入口 サロン サロ サロン ンロサ ◆大衆社交場◆ エフカ大的際國 生ピール ヤフヱー 京内 推:電 大和通50 TEL(3)24 座 H H 第1十六 東二條通り 背流 會館在間會館在國會館 會 輪 ※ 近日の八九道 配念公會堂婆 TELS,2505 存 サイグ 新聞 中国九六二(8) 新聞 香一二六五(3)話歌 またし御知らせ次第参上 致します 新京佐久川 電話2一八四二番 排水・下水管器 生乳·含八錢 協和收場 以為數學 古本買入一切の本も貴重な資源を資源を資源を 新京大猫病院 山口工務所 和泉町二電3五一 電3三七〇一卷

三友社

授業年齢、午後、夜間

東二條 通交番節 市光堂療院 音光堂療院

お米と 新満商事 木炭の

事業調査 新京東信公所 新京東信公所 新京東信公所

の印

行三个四五

建築用材料 建築用材料 連条用材料 運搬付販賣 でんなる 高井公司

電戶 ばか

話月賦販獎

賣話 電話 話 電 見 金 鹼

整門專門 南原等電流至五五年

何んでも御用頃は **纽**親安便信速切價利用 九二九三③雹

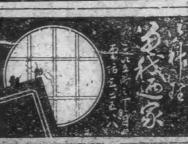
お茶道具はお茶道具はお茶道具は やあんま 東二峰通三九 融金及話電質 整期長·時即點金人





以 (B) 例, 数 图 位 中共西小小小人人放會下 高橋鍼灸科院 在初代, 自情長 電③五八六五 京温泉閣 専門人たる 特に御和談 電(3位1八五







店話電本荻(は方の用側) 前店商石丸街ヤイタニニノー可報入京街 融金工商小中







